

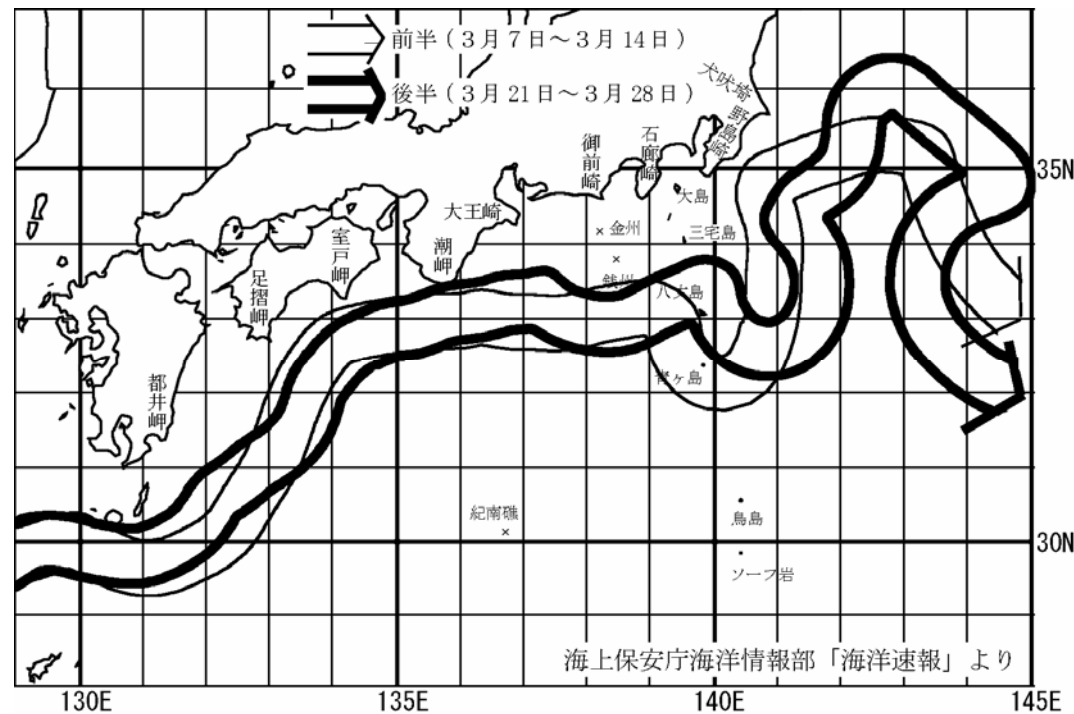
漁海況月報

平成 18 年 3 月 1 日

No. 3

~3月31日

静岡県水産試験場
(電話 054-627-1815)
静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



[黒潮流路]

前半、九州東岸から四国の足摺岬ではやや離岸傾向、室戸岬から潮岬では接岸傾向で流れた。潮岬以東では、遠州灘沖の 33° N を東進し、八丈島付近で 32° N 付近まで小規模に蛇行した後、141° E を北上し、房総沖を接岸傾向で東北東に流れ、145° E 付近で再び大きく蛇行した。

後半には、九州の都井岬沖で接岸したが室戸岬沖ではやや離岸した。潮岬以東では、駿河湾沖で緩やかに蛇行しつつ 33° N を八丈島付近まで東進し、同島の東側で 32.5° N 付近まで小規模に蛇行した後、141.5° ~ 142.5° E を 36° N 付近まで北上し、145° E 付近で大きく蛇行した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では 12~16 台、駿河湾東部では 12~15 台、駿河湾西部では 11~14 台で経過し、相模湾側では平年並み~やや高め、駿河湾側では平年並み~低めであった。小蛇行通過に伴う黒潮の短期的な変動があったものの、県下沿岸への暖水波及はなかった。

[竿釣近海カツオ]

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は302トンで前年同期の64%であった。魚価は400円/kgで、前年同期を上回った。

QR情報によれば静岡県船は 20° ~ 23° N, 139° ~ 141° E, 25° ~ 28° N, 139° ~ 145° E 及び 32° N, 140° E 付近で中、大カツオ、キメジ、特大、小、極小、特特大カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
18年3月上旬	163	8	20.4	398
中旬	103	8	12.8	357
下旬	36	4	9.0	531
18年 3月計	302	20	15.1	400
17年 3月計	470	54	8.7	327
16年 3月計	731	65	11.2	467

[定 置 網]

平成 18 年 3 月、伊豆半島東岸大型定置網 8ヶ統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は 405 トンであった。操業がなかった赤石を除く 1 漁場当たり水揚量 57.9 トンは前年 45.5 トン及び平年値(昭和 57~平成 17 年平均値) 44.7 トンの 1.3 倍であった。

魚種別にみると、マアジ 165.2 トン(A:前年同月比 1.1 倍、B:平年同月比 1.6 倍) サバ類 83.0 トン(A:2.0 倍、B:3.2 倍) カタクチイワシ 81.2 トン(A:81%、B:1.3 倍) プリ 21.2 トン(A:48%、B:1.2 倍) ウルメイワシ 15.7 トン(A:9.9 倍、B:7.0 倍)の順に多かった。

マアジは川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは 20cm にみられ 1 歳魚が中心であった。サバ類は川奈、伊豆山ではゴマサバを中心に、富戸ではマサバを中心に入網した。ゴマサバの尾叉長のモードは 27cm と 31cm にみられ、マサバの尾叉長のモードは 35cm にみられた。カタクチイワシは富戸、北川、谷津を中心に入網し、被鱗体長のモードは 11cm であった。プリは北川、川奈、富戸を中心に入網し、平均体重は 8.1kg、尾叉長のモードは 70cm であった。ウルメイワシは北川、川奈、富戸を中心に入網し、

2006 年 3 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	14.1	15.0	14.3	13.5	13.4	13.6	12.0
	0.5	0.9	0.6	-0.9	-0.8	0.1	0.3
中 旬	14.5	15.2	13.9	13.6	13.4	13.8	12.2
	0.7	0.9	-0.1	-1.2	-1.4	-0.1	-0.3
下 旬	14.7	15.5	14.9	14.4	14.3	14.0	12.3
	0.6	1.0	0.6	-0.9	-1.0	-0.3	-0.9
月平均	14.4	15.2	14.4	13.8	13.7	13.8	12.2
	0.6	0.9	0.4	-1.0	-1.1	-0.1	-0.3

3月としては昭和57年以降では2001年に次いで2番目に多く水揚げされた。被鱗体長のモードは16.5cmにみられた。

漁場別水揚量は、川奈(164トン：マアジ、サバ類中心)、富戸(74トン：カタクチイワシ、マアジ、サバ類中心)、北川(73トン：カタクチイワシ、ブリ、マアジの漁獲中心)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港にはたもすくい、棒受網によってマサバ0.3トン、ゴマサバ624トンが水揚げされた。漁場は、三本及び三宅島周辺海域に形成され、ゴマサバは尾叉長26~32cmの大きさのものが主に漁獲されたが、加えて33~40cmと幅広い体長のものが混じって漁獲された。ゴマサバ1kg当たりの平均単価は53円で、前年同期(47円)をやや上回った。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成18年 上旬	308	3	9	34.3	三本、三宅
3月 中旬	91	2	3	30.2	三宅
下旬	225	4	8	28.2	三宅
計	624	9	20	31.2	- - - - -
平成17年3月	268	9	21	12.8	三宅、鵜渡根島、新島
平成16年3月	884	11	42	21.0	三宅、高瀬

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で133kg、遠州灘で150kgだった。主要6港平均では141kgと前年同期の132%、平年同期(過去5か年平均：104kg)の127%と、平年を上回った。3月の総水揚量は34.2トンと、前年同期の86%、平年同期(24.9トン)の137%に当り、平年を上回った。平均単価は744円/kgと平年同期(831円/kg)を少し上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	2.3	2	12	194	211
舞 阪	1.1	2	6	188	262
福 田	4.9	3	48	101	625
御前崎	9.5	5	53	180	997
吉 田	2.7	2	39	68	1,059
静 岡	13.7	4	84	163	679
平成18年3月計	34.2	-	242	141	744
平成17年3月計	39.6	-	372	107	1,249
平成16年3月計	23.1	-	223	104	902

[まき網]

小川港では、マイワシは1.8トン水揚げされ、平年同期(過去5か年平均：24.6トン)の7%と極めて低調であった。カタクチイワシは7.7トンの水揚げがあった。

沼津港では、マイワシは0.6トンの水揚げがあり、平年同期(20.4トン)の3%と極めて低調であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。

静浦港、伊東港では、マイワシ、カタクチイワシともに水揚げはなかった。

[サクラエビ船曳網]

平成18年春漁は、3月27日が初漁となった。3月は1日の操業で28トンの水揚量となった。漁獲されたサクラエビは、体長35mmにモードを持つ当歳エビが主体であった。漁場は蒲原沖を主体に形成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (ト)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成18年3月上旬	-	-	平均 -	-
中旬	-	-	平均 -	-
下旬	28	1	平均 460	漁場探索、蒲原沖
平成18年3月計	28	1	平均 460	-
平成17年3月計	-	0	平均 -	-
平成16年3月計	78	2	平均 648	漁場探索、田子の浦沖

[調査船の動向]

富 士 丸

3月1日~3月28日 中間検査及びペンドック工事(28日間)

駿 河 丸

3月3~4日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘)(2日間)

3月6~7日 サクラエビIKMT調査(沼津原沖~焼津沖)(2日間)

3月8日 ペンドック工事のため回航(1日間)

3月27日 ペンドック工事終了により回航(1日間)